

小林海都さん応援レポート

第35回横浜市招待国際ピアノ演奏会

コンチェルト公演・ソロ公演

2016年11月5日(土)・6日(日)
横浜みなとみらいホール

将来を嘱望される若手ピアニストによる演奏会

30年以上の歴史を誇る「横浜市招待国際ピアノ演奏会」。若く才能あふれ、将来を嘱望されるピアニストを発掘し、紹介してきた演奏会である。過去の出演者には、伊藤恵氏、小山実稚恵氏、海老彰子氏、横山幸雄氏など、第一線で活躍されるピアニストの方々。財団奨学生OBの田村響さんも過去の出演者として名を連ねている。

今年の出演は4名のピアニスト。ブルガリアのエフゲニ・ボジャノフさん、ハンガリーのバラージュ・デメニーさん、ロシアのゲオルギー・チャイゼさん、そして日本から小林海都さん。世界のピアノ界の将来を背負うと期待される4名によるピアノ演奏が行われる。

2日間にわたって開催される演奏会。初日は高関健氏の指揮で、神奈川フィルハーモニー管弦楽団とのコンツェルト公演、翌日は、4名のピアニストによる各々のソロ公演。連弾も予定されるという多彩なプログラムが楽しみな演奏会は、時期を同じく開催されている「横浜音祭」の参加イベントでもある。



会場は横浜みなとみらいホール。初日のコンツェルト公演が大ホール。2日目のソロ公演は、同じく横浜みなとみらいホールの小ホールである。

みなとみらい21地区のクイーンズスクエア横浜内にあるみなとみらいホール。横浜初の本格的クラシックコンサートホールである。窓の外に広がるのは青い海。1998年の開館以来、「海が見えるコンサートホール」として親しまれている。

横浜出身の小林さん。地元での公演は7年ぶり。「・・・生まれ育った横浜での演奏は特別な想いがあります。・・・成長した自分をぜひ見ていただきたいと思います」と思い入れを聞かせてくれている。

オーケストラとのコンツェルト・ソロ演奏・連弾



初日、コンツェルト公演が始まる。4人の若手ピアニストが各々オーケストラとピアノ協奏曲を弾くという、なんとも贅沢なコンサートだ。最初に弾くのはブルガリアのエフゲニ・ボジャノフさん。2010年のショパンコンクール入賞者であり日本での人気も高い。モーツァルトの「ピアノ協奏曲第17番ト長調」をソフトに華麗に弾きあげる。

2番手はハンガリーからのバラージュ・デメニーさん。バルトークの「ピアノ協奏曲第3番ホ長調」をパッションと民俗感たっぷりに聴かせてくれた。

休憩ののち、小林さんが登場。弾くのは、ラヴェルの「ピアノ協奏曲ト長調」。洒落た小粋な曲を、艶やかに軽やかに。第1楽章をぐーっと盛り上げ、間合いも十分に第2楽章。静かに入り、ゆっくりとしたフレーズを、このうえなく美しく。終章の第3楽章まで瑞々しさと爽やかさいっぱいに奏でてくれた。



初日のラストはロシアのゲオルギー・チャイゼさん。曲はチャイコフスキーの「ピアノ協奏曲第1番変ロ短調」。迫力満点の演奏を聴かせてくれた。



写真ご提供：みなとみらいホール
(当ページのもの全て&次ページの連弾写真)



翌日はソロ公演。4名のピアニストが、各々のプログラムを演奏。2名ずつによる連弾もあるというスペシャルな企画だ。

小林さんは後半に登場。バッハの「トッカータ」、モーツァルトの「ピアノ・ソナタ 第8番イ短調」、ドビュッシーの「喜びの島」の3曲。柔らかくなめらかに、豊かに丁寧に。粒立つ音色に心も満たされる。



プログラムのラストはエフゲニ・ボジャノフ氏との連弾。ドビュッシーの「小組曲」。これがもう圧巻！身体を傾けたり揺らしたり。テンポや強弱を大きく変化させ、優雅でありながら躍動感もたっぷりに、はじけるような二人の演奏。それはそれは楽しそう。第1ピアノを担当する小林さんの高音もきらきらと。満席のお客様も大喜び。ブラヴォーの声飛び交い、盛り上がったの終演であった。

連弾時、小林さんが座った椅子は座面の高さが40cmほど。低い低い。この椅子、実はボジャノフさんが持参したファツィオリ社特注のもの。公演中も演奏とともに注目を集めていた椅子である。合わせの時に「座ってみる？」との話になり、弾いてみたところ、「断然この椅子の時の音がいいよ」と本番時デビューへ。

あれ？小林さんが座るの？と会場みなさんも一瞬ざわさわ、興味津々。

「・・・座面が低い分、また座面の素材感もあって重心が安定し、身体が、より自由な感覚になりました」と小林さん。息の合った演奏ぶりの裏には、二人での、そんな工夫もあったそうだ。



連弾をはじめ多くの刺激。充実の演奏会



終演後のレセプション会場で小林さんに話を聞くことができた；

ー盛りだくさんなプログラム；

「・・・最も印象的だったのは、ボジャノフさんとの連弾です。・・・とても個性の強い演奏をされるピアニストという記憶があったので、正直不安もありましたが、実際はむしろ言葉を交わす必要のないほど息がぴったりと合いました。・・・雰囲気身を委ね、お互いが仕掛け、反応し合い、そしてまた一つの新しい流れを作り出すという楽しさを噛み締めて弾いていました。・・・音楽を通して会話していたような感覚です」

ー中味の濃い企画でしたね；

「・・・海外からの3名は皆、既に沢山のキャリアを積んでいるソリスト達。ハードでしたが、それだけ刺激的で充実した時間でした・・・」。素晴らしい機会への感謝の言葉が続いた。



ー演奏会概要ー

《5日：コンツェルト公演》

◆出演

指揮：高関健

管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団

ピアノ：エフゲニ・ボジャノフ(ブルガリア)

バラージュ・デメニー(ハンガリー)

小林海都(日本)

ゲオルギー・チャイゼ(ロシア)

◆プログラム

モーツァルト：ピアノ協奏曲第17番

ト長調 K.453(エフゲニ・ボジャノフ)

バルトーク：ピアノ協奏曲第3番

ホ長調 Sz.119 (バラージュ・デメニー)

ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調(小林海都)

チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番

変ロ短調 Op.23(ゲオルギー・チャイゼ)



公演期間中には子供たちとの交流会も

この秋から新たにスイスのバーゼル音楽院に籍を置く小林さん、翌朝早くの便でスイスへ戻るという強行軍。

連弾したボジャノフさんとは空港での別れの際、また2人で演奏する約束を交わしたそうだ。「・・・それまでに、もっと成長してもらえるよう頑張りたいです！」と爽やかなコメントを送ってくれた。

小林さん、素敵な演奏でした。また聴かせてください！



《6日：ソロ公演》

◆プログラム

◇ゲオルギー・チャイゼ(ロシア)

シューベルト：4つの即興曲

Op.142, D.935

◇バラージュ・デメニー(ハンガリー)

バルトーク：

15のハンガリーの農民の歌 Sz.71

リスト：巡礼の年 第2年「イタリア」より

ダンテを読んでーソナタ風幻想曲

◇ゲオルギー・チャイゼ

& バラージュ・デメニー(連弾)

シューベルト：アレグロ イ短調

「人生の嵐」Op.144, D.947

◇小林海都(日本)

バッハ：トッカータ ホ短調 BWV914

モーツァルト：ピアノ・ソナタ

第8番 イ短調 K.310

ドビュッシー：喜びの島

◇エフゲニ・ボジャノフ(ブルガリア)

シューベルト：ピアノ・ソナタ

第21番 変ロ長調 D.960

◇小林海都 & エフゲニ・ボジャノフ(連弾)

ドビュッシー：小組曲

第35回

横浜市招待国際ピアノ演奏会

横浜から世界へ羽ばたく

若きピアニストたちの

国際ピアノ・フェスティバル



Yokohama International Piano Concert



4人の異なる個性を楽しむ——コンチェルト・ソロの2日間

2016年11月5日[土] コンチェルト { 高岡 健(指揮)
神奈川フィルハーモニー管弦楽団 }

大ホール 15:00 開演 (14:20開場)

2016年11月6日[日] ソロ

小ホール 15:00 開演 (14:30開場)

横浜みなとみらいホール

エフゲニ・ボジャノフ(ブルガリア)
ショパン国際ピアノコンクール第4位

バラージュ・デメニー(ハンガリー)
ハンス・フィッシャー国際ピアノコンクール第1位
および聴衆賞

小林海都(日本)
東京音楽コンクールピアノ部門第2位

ゲオルギー・チャイゼ(ロシア)
トップ・オブ・ザ・ワールド国際ピアノコンクール第1位

主催 横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団) 共催 横浜アーツフェスティバル実行委員会 企画 横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員会
協賛 日本マクドナルド株式会社 日本コカ・コーラ株式会社 株式会社ヤマハミュージックジャパン 日本ゾーディアック株式会社 協力 特定非営利活動法人ジャパンハート
支援 文化庁 平成28年度 劇場・音楽堂等活性化事業 後援 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

YOKOHAMA
MINATO MIRAI HALL

【コンサート・プログラム(表紙・裏表紙)】



主催 横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

共催 横浜アーツフェスティバル実行委員会

企画 横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員会

企画委員長 海老 彰子(ピアノ)

委員 堀 昌介(チェロ)

委員 弘中 孝(ピアノ)

委員 須田 真美子(ピアノ)

委員 伊藤 恵(ピアノ)

協賛 日本マクドナルド株式会社

日本コカ・コーラ株式会社

株式会社ヤマハミュージックジャパン

日本ゾーディアック株式会社

協力 特定非営利活動法人ジャパンハート

支援 文化庁 平成28年度 劇場・音楽堂等活性化事業

後援 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

【コンサート・プログラム P.1～2】

祝辞

横浜市長 林 文子

「第35回横浜市招待国際ピアノ演奏会」が開催されますことを心からお喜び申し上げます。

本演奏会の開催にあたり御尽力いただいた企画委員長の海老彰子様をはじめ横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員会の皆様へ深く敬意を表します。

この演奏会は、世界の国際ピアノコンクール入賞者の中から将来を有望とされる才能を発掘し横浜から広く紹介する演奏会として、35年もの長きにわたり開催されてまいりました。今年も4名の才能豊かな新進ピアニストをお迎えしています。

本演奏会は、現在、開催中の音楽フェスティバル「横浜音楽祭2016」の開催に合わせて特別公演となっており、横浜から彩り豊かな音楽を発信して下さることを期待しております。

むすびに、関係の皆様ますますの御活躍と、本公演の御成功を心からお祈り申し上げ、私のお祝いの挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

横浜市招待国際ピアノ演奏会 企画委員長 海老彰子

35回を迎えます横浜市招待国際ピアノ演奏会、今年も世界のピアノ界の将来を背負う、若き才能溢れるピアニスト達が横浜みなとみらいホールに集いました！「横浜音楽祭2016」という大きな波に乗り、オーケストラとの共演とソロの2日間をわたる豪華な舞台をご用意できます事を嬉しく思います。

創設者の山岡優子先生亡き後、1年おいて企画委員長としてのバトンを引き継いでから今年で7年目となる私ですが、いつもご来場戴く聴衆の皆様をはじめ、スポンサーの皆様方、素晴らしい楽器と楽器調整を長年に亘ってご親切に提供して下さる献身的なヤマハの皆様、4人の企画委員の先生方、横浜市、横浜みなとみらいホールの皆様方から感謝申し上げている次第です。これだけ長く存続する横浜市の文化的催しも少なく、回を重ねる毎にその存在価値の重みを実感している私共です。

第1回の開催当時から山岡先生と二人三脚で、親身になりコンサートを名実共に35年間、支え続けて下さっているのが廣瀬修さんです。いつも気に掛けて下さり、精神的及び実質的な惜しみ無いサポートをして下さる廣瀬さんに、この場を借りて深い感謝の念を捧げたい、と存じます。

特別企画として、音楽家のための運動療法を研究されているイザベル・カンピオンさんのレクチャーを開催できることとなりました。出演者と子供達との「夢はピアニスト」の交流会も是非お楽しみ下さい。日本から将来の若い才能が大きく、どんどん育って行って下さる事を切に祈ります。



横浜市招待国際ピアノ演奏会について

横浜市招待国際ピアノ演奏会は、常に新しい文化を取り入れ発信してきた横浜にふさわしく、世界の国際ピアノコンクール入賞者の中から将来を有望とされる才能を発掘し横浜から広く紹介することを目的として、横浜みなとみらいホールで毎年秋に開催されています。

ピアニストとして、教育者として、また数多くの国際コンクールの審査員として世界的に活躍した故・山岡優子氏とその提唱に賛同する音楽家や支援者の尽力により1982年にスタートし、今年（2016年）で第35回を迎える歴史ある公演です。

その第1回は横浜市招待国際ピアノ演奏会実行委員会、横浜市、横浜市教育委員会の主催により神奈川県立音楽堂で開催されました。その後神奈川県民ホールや横浜関内ホールでの開催も交えつつ、1998年以降は新たに開設した横浜みなとみらいホールに会場を移し、公益財団法人横浜芸術文化振興財団の主催、横浜市の共催により毎年途切れることなく開催され今日に至っています。

これまでに世界26カ国から延べ180人を超える新進気鋭のピアニスト達がソロ演奏やオーケストラとの競演で横浜の舞台を彩ってきました。その多くが世界でもトップクラスのアーティストとして活躍する輝々たる顔ぶれであり、この演奏会に出演することが世界の若きピアニスト達にとってのステータスともなっています。

出演者の選定は、第一線で活躍する演奏家により構成される企画委員会が担います。35歳以下かつ国際コンクールで2回以上の入賞歴があることを応募資格として世界から出演者を募るとともに企画委員会も自ら情報を集め、候補者の中から入念な審査・協議により出演者を決

定しています。第1回開催時以来、山岡氏をはじめ、大野和士氏、加藤伸治氏、野村光一氏、三宅洋一郎氏、三善晃氏、山田一雄氏（50音順）が企画委員会（当初は実行委員会）に名を連ね、現在の企画委員会は、山岡氏の遺志と企画委員長としての任を引き継いだ海老彰子氏、弘中孝氏、堀了介氏、伊藤進氏、須田真美氏により構成されています。

開始当初より、数多くの方々からの温かいご支援をいただきながら長年にわたり継続されてきたことも横浜市招待国際ピアノ演奏会の特徴です。横浜にまだ音楽練習施設も少なかった頃にピアノを備える施設を個人で建て、出演者たちの練習場所として無償で提供し「おもてなし」の心で出演者を迎え入れてくださった廣瀬修氏。廣瀬氏は自身の会社をはじめ多くの企業と横浜みなとみらいホールを繋ぎ、その協賛によってこの演奏会を経営面でもご支援くださっています。また、ホテルニュージャパンの原範行氏の提唱により結成された「横浜市招待国際ピアノ演奏会支援の会」に参加する地元横浜の企業や個人の方々からもご支援をいただきました。楽器会社各社からもさまざまなサポートをいただきました。現在は株式会社ヤマハミュージックジャパン様より技術的な全面的サポートとご協賛をいただいています。

横浜市招待国際ピアノ演奏会は、出演者と観客や横浜の方々ならびに関係者のみなさまとの交流も大切にしてきました。近年ではピアノ演奏会の枠を超え、ピアノ・室内楽のマスタークラスや調律・バロックダンスの特別レクチャー、子どもたちとの交流会など充実した関連企画を実施し、より広がりのあるピアノフェスティバルとして年々発展しています。

【コンサート・プログラム P.3～4】

11月5日[土]

コンチェルト

15:00開演(14:20開場) 会場:大ホール

エフゲニ・ボジャノフ(ブルガリア)
Evgeni Bozhanov, Bulgaria

モーツァルト:ピアノ協奏曲 第17番 ト長調 K.453
W.A.Mozart: Concerto No.17 in G major, K.453

バラージュ・デメニー (ハンガリー)
Balázs Demény, Hungary

バルトーク:ピアノ協奏曲 第3番 Sz.119
B.Bartók: Concerto No.3 Sz.119

～休憩～
Intermission

小林海都(日本)
Kaito Kobayashi, Japan

ラヴェル:ピアノ協奏曲 ト長調
M.Ravel: Concerto in G major

ゲオルギー・チャイゼ(ロシア)
Georgy Tchaidze, Russia

チャイコフスキー:ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 Op.23
P.Tchaikovsky: Concerto No.1 in B-flat minor, Op.23

指揮 高関健
Ken Takaseki, conductor

管弦楽 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
Kanagawa Philharmonic Orchestra

「第35回横浜市民音楽国際ピアノ演奏会」ではヤマハコンサートグランドピアノCFXを使用しています。
当演奏会を予定しておりましたケイト・ラウは健康上の理由により来けませんでした。何卒ご了承ください。

11月6日[日]

ソロ

15:00開演(14:30開場) 会場:小ホール

ゲオルギー・チャイゼ(ロシア)
Georgy Tchaidze, Russia

シューベルト:14つの即興曲 Op.142, D.935
F.Schubert: 4 Impromptus, Op.142, D.935

バラージュ・デメニー (ハンガリー)
Balázs Demény, Hungary

バルトーク:15のハンガリーの農民の歌 Sz.71
B.Bartók: 15 Hungarian Peasant Songs, Sz.71

リスト:巡礼の年 第2年「イタリヤ」より
ダンテを読んで——ソナタ風幻想曲

F.Liszt: Années de pèlerinage - II. Italia
Après une Lecture du Dante: Fantasia quasi Sonata

ゲオルギー・チャイゼ & バラージュ・デメニー (連弾)
Georgy Tchaidze & Balázs Demény

シューベルト:アレグロ イ短調「人生の嵐」 Op.144, D.947
F.Schubert: Allegro in A minor "Lebensstürme" Op.144, D.947

～休憩～
Intermission

小林海都(日本)
Kaito Kobayashi, Japan

バッハ:トッカータ ホ短調 BWV914
J.S.Bach: Toccata in E minor, BWV914

モーツァルト:ピアノソナタ 第8番 イ短調 K.310
W.A.Mozart: Piano Sonata No.8 in A minor, K.310

ドビュッシー:喜びの島
C.Debussy: L'Île joyeuse

エフゲニ・ボジャノフ(ブルガリア)
Evgeni Bozhanov, Bulgaria

シューベルト:ピアノソナタ 第21番 変ロ長調 D.960
F.Schubert: Piano Sonata No.21 in B-flat major, D.960

小林海都 & エフゲニ・ボジャノフ(連弾)
Kaito Kobayashi & Evgeni Bozhanov

ドビュッシー:小曲組
C.Debussy: Petite suite

【コンサート・プログラム P.9～10】

エフゲニ・ボジャノフ(ブルガリア) Evgeni Bozhanov, Bulgaria

ブルガリア出身。ボリス・ブロッホ氏、ゲオルク・フリードリヒ・シェンク氏に師事。08年リセアル国際ピアノ・コンクール優勝、10年エリザベート王妃国際ピアノ・コンクール第2位。同年ショパン国際ピアノ・コンクール第4位入賞。これまでに、ベルリン・ドイツ響、スウェーデン放送響、RAI国立響、フィレンツェ五月音楽祭管、スイス・イタリアーナ管等と共演。16/17年は、シュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団、サンタ・チェチリア国立アカデミー管等と共演を予定している。日本では、11年にベルリン・ドイツ交響楽団日本ツアー（指揮：佐渡裕／全国12公演）のソリストとして招かれた。12年にサントリーホールでリサイタルを開催。15年ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポニに出演。CD「フレデリック・ショパン」が＜ドイツレコード評論賞＞を受賞。



©Marco Borggreve

Evgeni Bozhanov

バラージュ・デメニー (ハンガリー) Balázs Demény, Hungary



1989年ルーマニア、クルジュ＝ナポカ生まれ。バルトク音楽高校でガボール・エックार्टに、2009年からリスト音楽院でアンドラーシュ・ケメネスに、2011年からはブダペストとベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学で同時に学び、2013年からベルリン芸術大学でパスカル・ドゥヴァイヨンに師事。2014年シーズンにはブダペスト・スプリング・フェスティバル、リスト音楽院大ホール、ガスタイク・ミュンヘン、ベルリン・フィルハーモニーといった著名な音楽祭やコンサートホールに招かれた。カール・フィルチ国際コンクール第1位、ハンス・フォン・ビューロー国際ピアノコンクール第1位・聴衆賞のほか、国際コンクールに多数入賞。ヨーロッパ各地でリサイタルに登場し、共演したオーケストラ、指揮者も数多い。

Balázs Demény

小林海都(日本) Kaito Kobayashi, Japan

1995年横浜生まれ。現在師事するマリア・ジュアン・ビスリスのもとで研鑽を積みつつ、同氏が力を注いでいる若手音楽家育成プロジェクト「バルティカーラ」の一員として世界各地で活動を展開している。国内でも昨年の秋には「ベートーヴェン ピアノ協奏曲全曲演奏会」や、ピアノデュオコンサートを行った。又、11月26日には、大阪いずみホールにて世界的ヴァイオリニスト、オーギュスタン・デュメイ氏との共演も予定されている。これまでに、神奈川フィル、東京響、日本フィル、東京フィル、新日フィル、リエージュ・ロイヤル・フィル、ベルギー国立管等と共演。これまでにピアノを湯口美和、故ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、横山幸雄、田部京子の各氏に師事。2年間のエリザベート王妃音楽院（ベルギー）での在籍を経て、9月よりバーゼル音楽院（スイス）にてピアノをクラウディオ・マルティネス・メーナー氏に師事。



Kaito Kobayashi

ゲオルギー・チャイゼ(ロシア) Georgy Tchaidze, Russia



Georgy Tchaidze

1988年サンクトペテルブルク生まれ。モスクワ音楽院でセルゲイ・ドレンスキーに、ベルリン芸術大学でクラウス・ヘルヴィヒに師事。セシリア弦楽四重奏団とのツアーや、ピアノデュオでも演奏。ボロディン弦楽四重奏団との共演は「壮大で、経験豊富な弦楽奏者たちの一言一音とマッチし、美しく愛得力のある演奏を紡ぎだした」と評された。これまでにベルリン・コンツェルトハウス、コンセルトヘボウ、カーネギー・ホールなどで演奏。トップ・オブ・ザ・ワールド国際ピアノコンクール第1位、ホーネンズ国際ピアノコンクール第1位。ロヴァーノン国際室内楽フェスティバルではアンドラーシュ・シフの代役としてピンスカ・ズーカマン指揮カナダ国立管弦楽団・管弦楽団とラフマニノフ＜協奏曲第2番＞を演奏し高い評価を得た。

【コンサート・プログラム P.11～12】

高関 健(指揮者)
Ken Takaseki, conductor

京都市交響楽団常任首席客演指揮者、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者、広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、大阪センチュリー交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督、札幌交響楽団正指揮者などを歴任。2013年2月のサントペルブルグ・フィル定期演奏会では、ロシアの名門オーケストラから豊潤な響きを引き出して聴衆や楽員から大絶賛を受け、2017年4月の定期演奏会で再び共演が予定されている。オペラでは新国立劇場公演「夕鶴」、大阪カレッジオペラ「ピーター・グライムズ」などで好評を博し、作曲家やソリストからも絶大な信頼を得る。渡邊曉雄音楽基金音楽賞(1996年)、齋藤秀雄メモリアル基金賞(2011年)を受賞。東京芸術大学音楽学部指揮科教授。twitter.com/KenTakaseki



©Masahide Sato

Ken Takaseki

神奈川フィルハーモニー管弦楽団
Kanagawa Philharmonic Orchestra



©青柳聡

Kanagawa Philharmonic Orchestra

1970年に発足し、1978年7月に財団法人、2014年公益法人への移行にあたっては、神奈川県・横浜市のほかとする自治体、企業、個人から多くの寄付を受け、公益財団法人に認定された。神奈川県音楽文化創造をミッションとして、神奈川県全域を中心に幅広い活動を続けている。音楽教育にも積極的で、子どものためのコンサートを各地で開催。神奈川フィルのメンバーと児童・生徒との音楽的交流を通して音楽の魅力を伝えるとともに次代の神奈川フィルのファンを増やしていく取り組みとして好評を得ている。そのほか養護施設等を対象としたボランティア・コンサートや出張コンサートも毎年開催している。これまでに「安藤為次教育記念財団記念賞」(1983)、「神奈川文化賞」(1989)、「NHK 地域放送文化賞」、「横浜文化賞」(2007)を受賞。ホームページ <http://www.kanaphil.or.jp>

第35回横浜市招待国際ピアノ演奏会 特別企画



《夢はピアニスト!〜子どもたちとの交流会》

11月3日[木・祝] 11:00～12:00
横浜みなとみらいホール6階 レセプションルーム

「将来は世界で活躍するピアニストになりたい!」
そんなたくさん子どもたちが将来のスーパースターの夢です。
現在ピアニストとして世界で活躍している若き4名の出演者が、
子どもたちとの交流を通して、夢を実現するお手伝いをします!
4名の出演者の演奏を間近で聴くこともできます。
海外の出演者と交流することで子どもたちの国際的な感性も養えます。



©Marco Berggren



参加ピアニスト エフゲニ・ボジャノフ、バレージュ・デメニー、小林海帆、ゲオルギー・チャイゼ



《ピアニストのための運動療法》

11月3日[木・祝] 14:00～15:00
横浜みなとみらいホール6階 レセプションルーム

音楽家のための運動療法のエキスパートであるイザベル・カンピオン氏による公開講座です。
ピアノ演奏時にトラブルのある奏者のためのリハビリや、トラブルを未然に防ぎ、
自然な演奏方法を導く身体の使い方など、実用性に富んだ内容をお届けします。



講師:イザベル・カンピオン Isabelle Campion (運動療法士)

運動療法士、アマチュアチェリスト。
2000年より演奏家のパフォーマンスや健康に焦点を当て、運動医学のディプロマを取得。
2002年より「音楽家のためのクリニック」La Clinique du Musicien et de la Performance Musicale」勤務。
フォーカル・ジストニアを含む演奏家の職業疾患とその予防、テクニクや音楽表現のための動作の最適化、
「あがり」の克服の研究、指導をしている。
2014年よりローザンヌ高等音楽院(Haute Ecole de Musique de Lausanne)で教鞭を取る。
フランス国内外での講演会、オーケストラ、音楽教育機関でのトレーナーとしての活躍など。
音楽に關する活動に大きな情熱を注いでいる。
日本では、2009年よりコンセルヴァトワール・パリ・トリーヤウ企画の講師で講師を務め、
2010年からは毎年、東京藝術大学に於ける特別講師の講師を務めている。
©コンセルヴァトワール・パリ・トリーヤウ作成

【コンサート・プログラム P13～14】

【横浜市招待国際ピアノ演奏会 これまでの出演者一覧】

第1回（1982）神奈川県立音楽堂
 前田直子（日本）
 ヒトエム・コムスフィッチ（西ドイツ）
 フォーキン・セム（トルコ）
 島田英子（日本）
 ロラン・カバレッジ（フランス）
 フムジ・ヤツサ（スロバ）

第2回（1983）神奈川県立音楽堂
 エリット・ドナウ（フランス）
 コンスタンツェ・ア・テケムスト（西ドイツ）
 小川清恵（日本）
 伊藤 暹（日本）
 エム・ザ・コロダシ（西ドイツ）
 エドワーズ・エリクス（ブラジル）

第3回（1984）神奈川県立音楽堂
 前田直子（日本）
 ジョアン・ル・エクス（フランス）
 ハン・グ・ヤン（アメリカ）
 パーヴェル・ボリソフ（オーストリア）
 アラン・スグー（フランス）
 角野 祐・倫子（日本）

第4回（1985）神奈川県立音楽堂
 前田直子（日本）
 デニス・バリス（スペイン）
 ホセ・カルロス・コカス（ブラジル）
 エム・グ・ビョー（フランス）
 ナタリス・今井子・後（日本）
 フラヴィオ・アブラム（フランス）

第5回（1986）神奈川県立音楽堂
 デュ・リエム（フランス）
 三村和子（日本）
 ミュー・タム（アメリカ）
 エグ・ボゾフ（ドイツ）
 シュル・バリス（フランス）
 角野 祐子（日本）

第6回（1987）神奈川県立音楽堂
 ベルナル・ル（ドイツ）
 小笠野久美（日本）
 ハン・ス・ス・グ・グ（西ドイツ）
 仲庭昭代（日本）
 ジョアン・アブラム・グ（フランス）
 ニール・ワットマン（アメリカ）

第7回（1988）横浜ホール
 アウグ・ノ（イスラエル）
 小川 純子（日本）
 アレ・アル（イギリス）
 東 康三（日本）
 イー・ジョー（韓国）
 ジョアン・マリ・コ（フランス）

第8回（1989）神奈川県立音楽堂
 アレクサンデル・ス（フランス）
 前田直子（日本）
 カロ・ル・ボ・グ・グ（ベルギー）
 若林 暹（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 トーマス・ロラン（アメリカ）

第9回（1990）神奈川県立音楽堂
 エリット・ドナウ（フランス）
 坂井千香（日本）
 ベルナル・グ・グ（ドイツ）
 パスカル・ル・コル（フランス）
 ニコラ・グ・グ（イギリス）
 田中 祐二（日本）

第10回（1991）神奈川県立音楽堂／神奈川県立ホール
 マリ・ド・シエ・グ・グ（フランス）
 田中 祐子（日本）
 マックス・グ・グ（ドイツ）
 フォーキン・セム（トルコ）
 角野 祐子（日本）
 シュル・バリス（フランス）
 角野 祐・倫子（日本）
 角野 祐・倫子（日本）

第11回（1992）神奈川県立音楽堂
 前田直子（日本）
 マキシム・モリス・グ（ロシア）
 アレク・グ・グ（アメリカ）
 角野 祐（日本）
 三木 浩次（日本）
 アラン・グ（フランス）
 角野 祐・倫子（日本）
 角野 祐・倫子（日本）
 角野 祐・倫子（日本）

第12回（1993）神奈川県立ホール／神奈川県立音楽堂
 マリ・ド・シエ・グ・グ（フランス）
 中井正子（日本）
 デイ・グ・グ（アメリカ）
 デュ・リエム（フランス）
 角野 祐（日本）
 マックス・グ・グ（ドイツ）
 角野 祐・倫子（日本）
 角野 祐・倫子（日本）

第13回（1994）神奈川県立音楽堂／神奈川県立ホール
 パスカル・ル（フランス）
 及川 浩子（日本）
 フォーキン・セム（トルコ）
 デニス・バリス（フランス）
 角野 祐子（日本）
 フォーキン・セム（トルコ）
 角野 祐・倫子（日本）
 角野 祐・倫子（日本）
 角野 祐・倫子（日本）

第14回（1995）神奈川県立音楽堂／神奈川県立ホール
 アレク・グ（フランス）
 角野 祐子（日本）
 フォーキン・セム（トルコ）
 ニコラ・グ・グ（イギリス）
 角野 祐子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 角野 祐・倫子（日本）
 角野 祐・倫子（日本）
 角野 祐・倫子（日本）

第15回（1996）神奈川県立音楽堂
 江口 裕子（日本）
 フォーキン・セム（トルコ）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 マキシム・モリス（ロシア）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第16回（1997）神奈川県立音楽堂
 ロラン・カバレッジ（フランス）
 マキシム・モリス（ロシア）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 土屋 浩子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第17回（1998）横浜みなとみらいホール
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 田中 祐子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第18回（1999）横浜みなとみらいホール
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 土屋 浩子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第19回（2000）横浜みなとみらいホール
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 土屋 浩子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第20回（2001）横浜みなとみらいホール
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 土屋 浩子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第21回（2002）横浜みなとみらいホール
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 土屋 浩子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第22回（2003）横浜みなとみらいホール
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 土屋 浩子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第23回（2004）横浜みなとみらいホール
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 土屋 浩子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第24回（2005）横浜みなとみらいホール
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 土屋 浩子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第25回（2006）横浜みなとみらいホール
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 土屋 浩子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第26回（2007）横浜みなとみらいホール
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 土屋 浩子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第27回（2008）横浜みなとみらいホール
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 土屋 浩子（日本）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）
 フラヴィオ・カサール（フランス）

第28回（2009）横浜みなとみらいホール ガラ・コンサート
 土屋 浩子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）

第29回（2010）横浜みなとみらいホール
 土屋 浩子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）

第30回（2011）横浜みなとみらいホール
 土屋 浩子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）

第31回（2012）横浜みなとみらいホール
 土屋 浩子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）

第32回（2013）横浜みなとみらいホール
 土屋 浩子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）

第33回（2014）横浜みなとみらいホール
 土屋 浩子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）

第34回（2015）横浜みなとみらいホール
 土屋 浩子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）
 角野 祐子（日本）